

「海外に子ども用車椅子を送る会」を 支援してくださる皆様へ

2023年3月号 vol.28

子ども用車椅子
これまでに
送り届けた国々

累計 **26**ヶ国
9,406台
2023年2月現在

あなたの
サポートを
求めています



世界の肢体不自由の子どもたちにもたちらに動ける喜びを



提供する

- 不要になった子ども用車いすを首都圏特別支援学校のPTAや療育センターのご協力で収集しています。
- 個人の方は送料ご負担で送ってください。

送り先 福生市加美平3-7-13 森田祐和 宛



会員になる

- 会員としての活動への参加をお待ちしています。
- 年会費は個人3,000円、法人は20,000円です。
- 入会希望者には入会申込書をお送りします。



寄付する

- 国内外の活動に経済的支援をお願いします。
- 海外へ送るには整備費・輸送費など1台約1万円がかかります。

お振込先

郵便振替 口座記号番号: 00130-9-389966
海外に子ども用車椅子を送る会
多摩信用金庫 昭島支店 普通 3933782
海外に子ども用車椅子を送る会

ホームページ <http://kaigaikurumaisu.org/>



活動する

- 会員でなくとも洗浄整備等の作業に参加できます。
- 毎月第3日曜日に例会で整備作業を行っています。
- 参加者の交流の場です。見学参加を歓迎します。

活動場所

海外に子ども用車椅子を送る会
拝島倉庫
福生市熊川73番地
(青梅線拝島駅より徒歩16分)

毎月第3日曜日
kaigaikurumaisu.org
詳細はHPで



N P O 法 人

海外に 子ども用 車椅子を 送る会



活動
レポート
2023年3月 第28号



戦争下にあるウクライナの子どもたちに 12台を贈呈へ

2022年10月 日本で暮らすウクライナ人のトカル・レーシャさんからの要望

2022年9月、日本で暮らすウクライナ人女性トカル・レーシャさんから「ウクライナに子ども用車椅子を送りたい」という要望がありました。拝島倉庫で子ども用車椅子を見てもらうと「素晴らしい。大人用車椅子は手に入るが、子ども用は見つからなかった。ぜひともウクライナに送りたい。」とのことでした。急な話で十分な清掃・整備ができませんでしたが、比較的きれいな12台を選び、タイヤ、虫ゴム、ブレーキの確認をして贈呈することにしました。送り先は、ウクライナのキーウに拠点を置くウクライナ・フードバンク連盟です。「連盟の活動目的は、ウクライナの最も社会的に脆弱な市民、恵まれない子供たち、障害のある子供たちに支援を提供することです。」戦争という最も過酷な環境にある障害を持つ子どもたちが車椅子を手に入れて無事に暮らせることを祈ります。



トカル・レーシャさん



パキスタンマイルストーン協会に車椅子37台を贈呈へ

2022年10月 NPO法人「さくら車いすプロジェクト」と共同で発送

NPO法人さくら車いすプロジェクトを運営する 齋藤 省 氏から、パキスタンの「マイルストーン特別な人のための協会」に電動車椅子に加えて子ども用車椅子を送りたいので提供してもらえないかと2022年9月に打診がありました。当会からは手動車椅子37台をコンテナ積込み地の坂東市へ届けました。コンテナは10月27日にパキスタンのカラチ港に向けて出発しました。



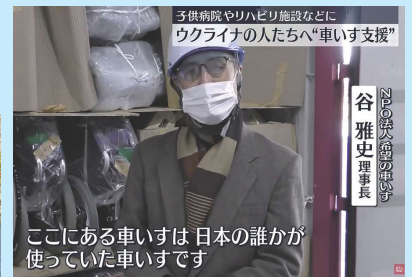
戦争下のウクライナに3団体協同で車椅子を150台送りました

2023年2月 ロンドン在住のジャーナリスト木村ご夫妻の熱心な要請で実現

ロンドン在住の木村ご夫妻の要請から、戦禍で苦しんでいるウクライナの人たちを支援したいという思いが繋がり、車いすを寄贈している三団体と海運会社、運送会社が協力しました。車椅子の提供は「希望の車いす」「飛んでけ車椅子」、当会の三者で、希望の車いすの谷理事長が取りまとめの労をとってくれました。準備できたのは、希望の車いすが110台、飛んでけ！車いすの会が30台、当会が子ども用10台です。送り先は、ポーランドに避難しているウクライナ人の人道支援組織Future for Ukraine Foundation (FFU) です。3月以降にウクライナ西部の子供病院やリハビリ施設などに届けられる予定です。



コンテナが東京港へ向けて出発。



日テレニュースのインタビューに応える「希望の車いす」の谷理事長。



車椅子に加えて医療を目的とした特殊器具もマレーシアに送りました

2023年2月 座位保持、歩行訓練器、立位訓練器、バスター、補装具、車椅子、等を発送

マレーシアのパートナーであるAleps Dream Factory代表のサイド氏から、「車椅子以外の治療に役立つ機器を送って欲しい」と要請がありました。通常の手動車椅子28台、カーシート10個も加えて、特殊器具を載せた本船が2月27日に東京港を出ました。今回の贈呈により、サイド氏の支援の範囲が医療の領域まで広がり、より多くの子どもたちが治療を受けられるようになることを祈ります。これでマレーシアに送った車椅子は1,648台となりました。



12台

19台

5台

6台

183足

下記は、ウクライナ、パキスタン、マレーシアへの贈呈に対して車椅子を提供してくれた主な学校等です

県立鎌倉養護学校 都立大泉特別支援学校 県立川島ひばりが丘特別支援学校 千葉県立桜が丘特別支援学校 都立八王子東特別支援学校
国立千葉東病院 県立座間養護学校 千葉県立船橋夏見特別支援学校 横浜市立北綱島特別支援学校 さいたま市立ひまわり特別支援学校
(上記以外にも、個人により持ち込まれたものもあります)